

西尾市事務評価シート

事務No.	19-009	事務内容	市民労力提供に対する原材料支給事業				
総合計画施策コード	611	事務開始年度	平成24年度		担当課名	地域支援協働課	
予算科目	02款 01項 13目	大事業	02	中事業			
事務事業名 (中事業名)	市民と協働するまちづくり推進事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市民と行政との協働によるまちづくりの推進を図るため、市民の無償の労力提供による公共施設等の維持管理に対し、予算の範囲内で原材料を支給すること
事務の対象 (誰(何)のために)	町内会長、複数の町内会連合会長又はそれに相当すると市長が認める者及び施設等の利用又は受益者団体の長
事務の概要 (具体的に何を)	市民の無償の労力提供による公共施設等の維持管理に対し原材料を支給

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	49,960円	0円	0円
人 工	0.1人	0.0人	0.0人
人 件 費 ②	707,298円	0円	0円
総事務費③(①+②)	757,258円	0円	0円
総 財 源 内 費 の 内 訳 ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	757,258円	0円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-757,258円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	事業を廃止したため。		
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額
	なし		

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	見込みに対する実績					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		25 %		0 %		0 %	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	要望に対する実施率					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		100 %		0 %		0 %	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	30,290円	0円		0円			

●事業の終期

事務No. 19-009

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	1	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	1	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	1		事務時間は適切なものになっているか	1	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	1		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	1	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	1	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	1	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	1	
評価の総合的なコメント	平成29年度で事業を廃止					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	平成29年度で既に事業を廃止				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題	本来の目的である市民の自発的な活動に対して原材料を支給する案件が少なく、施設管理の担当課が施設管理費の予算がないことを理由にこの事業を活用する方向になっていた。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	特になし
---------------	------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	平成29年度で事業を廃止
--------	--------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	利用の少ない事務を廃止することは評価できます。
----------	-------------------------

# 西尾市事務評価シート

事務No.	19-010	事務内容	市民協働ガイド				
総合計画施策コード	611	事務開始年度	平成26年度		担当課名	地域支援協働課	
予算科目	02款 01項 13目	大事業	02	中事業			
事務事業名 (中事業名)	市民と協働するまちづくり推進事業 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市民が望むタイムリーな市政情報を分かりやすい言葉で届け、市民が持つ創造性、柔軟性に富んだ意見や提案を聴くことで、市政参画による合意形成を図り、市民ニーズに即した行政運営を行うこと。
事務の対象 (誰(何)のために)	市民
事務の概要 (具体的に何を)	小学校区内での実施に加え、市全域を活動エリアとする各種団体や市内の高等学校などに対しても、引き続き積極的にPRを行う。 なお、実施目標は、市組織を9つに分けた所属単位において、9月末までに担当する3小学校区すべてで最低1回行い、通年で各種団体などでの実施を含めて6回以上開催するよう努める。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	7,128円	8,000円	0円
人工	0.1人	0.1人	0.0人
人件費②	707,298円	710,461円	0円
総事務費③(①+②)	714,426円	718,461円	0円
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	714,426円	718,461円
	その他( )	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	4,035円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.56%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	消耗品費	重点テーマ印刷用紙	7,128円

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	市民協働ガイド実施回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	質問などに対する回答数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	10,663円		12,387円		0円		

●事業の終期

事務No. 19-010

事務の終了時期	H30. 3. 31	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	平成29年度で事業を終了					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	平成29年度で既に事業を廃止				
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題	自発的に市民から市民協働ガイドの実施を依頼されることは少なく、校区コミュニティや担当部署の関連団体等市民協働ガイドを実施する組織が固定化されてしまっていた。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	特になし
---------------	------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	平成29年度で事業を終了
--------	--------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	事務全体の課題を踏まえ、市民からの依頼が少ない事務を廃止することは評価できます。
----------	------------------------------------------

# 西尾市事務評価シート

事務No.	19-017	事務内容	託送物取りまとめ				
総合計画施策コード	611		事務開始年度	不明		担当課名	地域支援協働課
予算科目	02款	01項	13目	大事業	03		
事務事業名 (中事業名)	町内会事務 ( )						

## 事務の概要

### ●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	広報にしおや各種配布物などの配布により、市政に関する伝達事項の周知徹底を図る。
事務の対象 (誰(何)のために)	市民
事務の概要 (具体的に何を)	委託業者が各町内会ごとに分けた広報にしおや各種配布物を梱包し、各町内会長宛てのゆうパックラベルを貼付して郵便事業株式会社西尾支店に納品する。託送物を受け取った町内会長は各世帯に配布する。

### ●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	3,967,056円	3,990,000円	4,044,816円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	5,381,653円	5,410,922円	5,482,798円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	5,381,653円	5,410,922円	5,482,798円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	29,269円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.54%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	その他委託料	託送物仕分け業務委託料		3,989,660円

### ●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	託送物仕分け回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		24 回		24 回		24 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	回覧・全戸配布物件数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		95 件		78 件		75 件	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		224,236円		225,455円		228,450円	

●事業の終期

事務No. 19-017

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	市政への理解と市民参加による市政運営を図る上で、市民生活に必要な情報提供のために今後も必要不可欠となる。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント		市民の市政への関心や理解を深め、行政情報の共有が図られた。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	託送物は市民への情報提供の手段として有効だが、その配布回数や方法については見直す必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	各世帯への配布について、民間委託も視野に入れたい。					
事務全体の課題	町内会への加入率減少や町内会の担い手不足が懸念される中、町内会による託送物の配布作業が負担となってきている。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市…民間団体への委託によるポスティングを実施 B市…市シルバー人材センターに仕分けを、民間業者に配送を委託 C市…町内会に業務委託
---------------	--------------------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	月2回の「広報にしお」等の配布が負担になっている (H30.4月 町内会長の意見)
-----------------	-------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	現在、町内会長に委託している「広報にしお」及び各種依頼文書の配布回数や方法について、秘書課と連携を取りながらより効果的な方法を検討し、町内会の配布に係る作業量の負担軽減に努めたい。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	秘書課と連携し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	-----------------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	19-043	事務内容	(仮称) 外国人災害時情報センター設置・運営				
総合計画施策コード	613		事務開始年度	未定		担当課名	地域支援協働課
予算科目	02款	01項	13目	大事業	08		
事務事業名 (中事業名)	地域国際化事業 ( )						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	災害時において、日本語が不自由なため、また、日本の災害に対する知識が不足しているために要援護者となる外国人を支援すること。
事務の対象 (誰(何)のために)	外国人住民
事務の概要 (具体的に何を)	外国人災害時情報センターを設置し、多言語による緊急情報・支援情報の提供、避難所にいる外国人の支援等を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.0人	0.0人	0.0人	
人 件 費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他( )	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		0円		0円		0円	

●事業の終期

事務No. 19-043

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	事業内容を検討中のため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か		
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か		
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか		
評価の総合的なコメント						
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)					
民間委託又は市民協働拡大の方向性						
事務全体の課題						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	大規模災害時に「災害多言語支援センター」もしくはそれに類似する在住外国人を支援する窓口を立ち上げる市町村の数…4
---------------	----------------------------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語が話せるスタッフが多く必要となるため、通訳の養成を行う</li> <li>外国人コミュニティの中心人物と連携を取ることができるよう、日頃から体制を整えておく</li> </ul>
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	外国籍住民会議や外国人関係団体の協力を得ながら、具体的なセンター立ち上げ・運営マニュアル案を作成する。マニュアル案に沿ってセンター立ち上げ・運営訓練を実施する。
--------	----------------------------------------------------------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	外国籍住民会議や外国人関係団体の協力を得るなど効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	--------------------------------------------------